

牧師所感： 第33回パリオリンピック大会

— 平和のスポーツ祭典を祝す —

筆者はあらゆるスポーツには才能のない者であるが、只 非常な興味を持って 観戦して来たのは、唯一 オリンピック大会である。筆者の生涯において、少年の時より 今日迄、事情が許す限り、各国で開催されて来たオリンピック祭典を 欠かさず観覧して来た。

前回は 東京でのオリンピック大会だったので、心安く観覧することが出来た。

ところで 今回は 日本から遥かに遠く離れている ヨーロッパのフランスのパリである。齢若くて、事情が許せば、観戦も可能であろうが、後期高齢者である筆者には、体力的にも経済的にも 観戦を許さない。

だが テレビで、世界各国から参加する選手達の入場を つぶさに観ることが出来る幸いを 感謝する者である。

更に 今までヨーロッパの国々を旅したことは、生涯忘れることの出来ない経験であった。例えば 東京六本木男声合唱団のメンバーとして、ロシア、イタリア、スイス、アメリカの国で 演奏した経験を持つ。また キリスト教の宣教を目的に 北ヨーロッパの国々（デンマーク、ノルウェー、スウェーデン、フィンランド）にも足を運んだこともある。

ところが フランスには 一度も訪れたことない。世界的に有名な思想家達を生み出した国、芸術の国、エッフェル塔が示すパリの大都会に、一度も訪れたことはなく、書物を通じて知るだけである。

ところが 今回のオリンピック祭典によって、映像で見るところの パリ全市街を見渡すことが出来た。幸せに思う。

さて、パリで 今 オリンピック競技が進行中であるが、特に 前回 東京でのオリンピック 柔道 52 kg 級の競技で、阿部 詩選手（女）が 金賞に輝いた経歴を持つ。

ところが パリのオリンピックでも、優勝を目指して 相手の選手と競技の末、残念ながら敗者になった。ところで 自分が負けたことを知るや、悔しさのあまり、大声を出して泣き崩れた。席に戻っても 泣き止まない彼女に同情し、観客は 一斉に手拍子を打って彼女を慰めた。でも 一向に泣き止まない彼女に同情して、最後には 観客が総立ちになって 拍手して 彼女を送った。

ああ、何と言う 心の広いパリ市民だろうか！その観衆の温かい励ましに答えて、兄の阿部 一二三選手は、見事に柔道の競技の末 金を取って、観衆の愛に答えた。

おわりに すべての選手の上に 神の加護を祈る！！